

## 第2回協議会（勉強会）の概要について

### 1 日時

平成26年7月10日（木）16:00～17:15

### 2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 佐藤進委員長職務代理
- 森本哲次委員
- 藤井宣夫委員
- 高本恭子委員
- 吉田育弘教育長

### 3 テーマ

「奈良県教育の基礎検討課題について」

### 4 協議内容

- 事務局が、奈良県教育の基礎検討課題である「学力・学習意欲の向上」「規範意識の醸成」「体力の向上」について、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、先進県との比較や市町村別の比較による考察を行った結果を報告した。
- 体力の向上について、委員から、「芝生化は体力の向上に効果的であるというデータが示されているので、今後も推進していくべきである」との意見が出た。事務局は、「芝生化後の維持管理費等解決すべき問題は多いが、市町村に働きかけながら積極的に取り組んでいきたい」と説明した。
- 学力・学習意欲の向上について、委員から「奈良県は家庭学習を全くしない児童生徒の割合が多い」「先進地である秋田県では、家庭での学習習慣が確立している。家庭への働きかけも必要である」「知識を活用する力、自ら考えることのできる力を身に付けさせることが大切である」等の意見がでた。  
教育長は、「単に知識を詰め込むだけでなく、子どもたちの想像力を豊かにするような授業を展開することが大切である。そのため、教育研究所が実施する研修の充実を図るなどして、楽しい、発展的な授業を行うことができるよう支援していきたい」と説明した。
- 最後に、「データから、学力の高い県は規範意識も高いということがいえる。三つの課題には相互に関連するところがあるので、今後もデータ分析を進め、奈良県教育の方向性を打ち出して、市町村教育委員会や学校に示していくことが必要である」ことを共通理解した。
- 次回は7月24日の予定で、国の教育再生実行会議第五次提言に向けての議論を中心に、討議を行うことにする。

## 第3回協議会（勉強会）の概要について

### 1 日時

平成26年7月24日（木）15:30～16:45

### 2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 佐藤進委員長職務代理
- 森本哲次委員
- 藤井宣夫委員
- 高本恭子委員
- 吉田育弘教育長

### 3 テーマ

「教育再生実行会議（第五次提言）での議論について」

### 4 協議内容

- 事務局が、教育再生実行会議の「今後の学制の在り方について（第五次提言）」について、その概要を報告した。また、「子どもの発達、幼児教育」と「小中一貫教育」について、実行会議に提出された資料をもとに説明した。
- 説明を受けて委員から、「奈良県における小中一貫教育の現状はどのようになっているか」との質問が出た。事務局は、「現在奈良市、御所市、明日香村、上北山村等の計10中学校区で実施されており、一部の学校では、学校段階の区切りを4-3-2に変更して取り組んでいる。明確な効果については今後検証していく。」と説明した。
- 小中一貫教育の効果について、委員から「小学校で数学や理科等、教科担任制を導入すれば効果があるのではないか。」「学力向上だけでなく、様々な学年集団と共に教育活動を行うことにより、社会性の醸成が期待できるのではないか。」等の意見が出た。

教育長から、「課題として、中学校1年生で不登校の生徒が急増することがある。」との報告があり、委員からは、「不登校には事象が発現する前から積み重なった様々な要因がある。学校段階の区切りを変えただけでは、根本的な解決につながらない。事前にケアをすることが大切なのではないか。」「実際に環境が大きく変わることで学校へ行けなくなる生徒は多い。小中学校で連携を密にしていくことが必要である。」との意見が出た。
- 最後に、「奈良県教育の課題を解決するために、どのような制度を導入することが効果的なのか、様々な検証を行っていく必要である。」ことを共通理解した。
- 次回は9月5日の予定で、教育委員会制度改革に係る法改正について討議を行うことにする。